

元気企業 訪問

ワボウ電子 株式会社

代表取締役社長

月ヶ瀬 義雄さん

つきがせよしお



本社工場クリーンルーム



会社の沿革と主力事業は？

1941年、紡績・繊維メーカーの「日本和紡糸製品株式会社」として創業しました。やがて1960年代に入ると繊維業界に不況の影が覆い始め、弊社も例に漏れず苦難に喘いでいたとき、国内大手半導体メーカーから半導体ダイオードの製造を持ちかけられ、ダイオードの組立を開始しました。1969年に「ワボウ電子株式会社」と改称し、電子機器業界へのスタートを切りました。

その後、大型電子計算機の組立やノートPCメイン基板の設計、実装を開始し、現在は各種プリント基板製品の製造・販売、

卓越した品質管理技術と製造技術が高評価。 大手電気・電子機器メーカーから指名発注 が殺到

「人のため、世のため」という想いで、時代の潮流に乗りながら人や社会の役に立つ事業に挑戦してきたワボウ電子株式会社。創業時は繊維事業を通じて快適な暮らしを届け、時を経てプリント基板や半導体の製造、ソーラー発電システムの開発に進出し便利で豊かな社会づくりに貢献。そして「おうみ海老」の陸上養殖・販売という新たな挑戦で人生100年時代の食や健康を支えようとしている。

太陽光発電セルの販売・施工、電子部品の製造などを主力事業として活動しています。また新規事業としてバナメイエビの陸上養殖に取り組んでいます。

お客さまから評価されている点、強みは？

品質と原価と納期を追求して世界一の品質を実現している点が評価されているのだと思います。弊社は様々な電子部品などの製造を行ってきました。そこで培われたものは、徹底した品質管理技術のもとで高い精度と品質を保ちながら量産を可能にする製造技術です。この点は他社の追隨を許さないものと自負



浅井工場

しています。

長浜市内に本社工場、浅井工場、加納工場・西上坂工場、そして中国の蘇州工場（和紡電子有 限 公 司）を有しています。本社工場では、特定の顧客に対応する「NPI（New Product Introduction）セクター」でフリップチップ実装等の高密度実装技術が必要とする設計、試作ならびに小ロット生産を行っています。また、中ロット量産と組立・検査業務、光通信用の中継器の部品、LEDの部品など多種多様なアイテムを製造しています。同セクターは、弊社の技術力を示す象徴的存在で、ここで検証された技術は量産化

エビ」の陸上養殖事業をスタートさせました。

「エビは天然ものと養殖もの、どちらが良いですか？」と質問すると、大半の方が「天然もの」と答えられると思いますが、食の安全・安心の面からいえば必ずしもそうとは言えません。今の地球上にはさまざまな汚染物質が存在しています。海もしく、そこで我々が考えたのが、

これまでに培った、徹底した品質管理技術で完全にコントロールされた人工海水を作り、そこでエビを養殖するという方法です。伊吹山系の深層帯から湧き出る水に、2億年前の地層から抽出したフランス産岩塩を混

ぜた人工海水を作り、水槽の水を循環させて水質を良好に保ち、薬品を一切投与しない安全性の高い環境下でエビを養殖します。養殖時にでた窒素分を海ぶどうの栽培に使用してきれいな水に戻し、エビの養殖に再利用するというサステイナブルな方法で育ったエビは「おうみ海老」と名付け、県内はもとより首都圏へも出荷しています。

家を「プロフェッショナル人材戦略拠点」で紹介してもらい、伴走支援していただきました。さらに今年度は「企業のDX推進補助金」で、「DX推進による陸上養殖システムの最適化とDX人材育成」というテーマで採

択されました。

エビの短期育成には、最適なタイミングでの給餌が重要です。そのため、水温等の各種データを活用して、自動給餌機を作動させるためのIoT技術を習得した人材が必要で、今、人材の育成に立命館大学の指導を受けて取り組んでいます。育成した人材はもろろん自社のDXの推進に必要ですが、他企業のDXのお役に立てればという思いもあり

養殖事業で県や産業支援プラザから受けた支援は？

県の令和4年度「滋賀県中小企業新技術開発プロジェクト補助金」で「バナメイエビ養殖水槽の可視化技術開発」が採択され、水質浄化を行う企業とのマッチングで水槽の水の濁りを抑制する装置を開発しています。また、養殖エビの販路開拓やブランディングを行う専門

おうみ海老



海ぶどう

最後に社長の経営ポリシーは？

「おかげさま」です。お客さまはもろろん、社員や役員に「皆さんのおかげでここまで来させていただいた」という思いを常に忘れずにいます。そして父親の教えですが、「お前が経営する会社はお前以上にはならない。だからお前が今以上に大きく立派になれ」です。一人では何もで

<PROFILE>

ワボウ電子株式会社

■代表者／代表取締役社長 月ヶ瀬 義雄

■従業員／591名(2023年4月現在 中国工場除く)

■所在地／滋賀県長浜市平方町730(本社工場(NPIセンター))

■創業／1941年

■事業内容／プリント基板製造、太陽光発電セル加工、電子部品製造、精密機械設計・製作および販売、エビの陸上養殖・販売

■TEL／0749-63-5100

■URL／<http://www.wabo.co.jp> <https://www.oumiebi.jp/>



問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ 連携推進部 イノベーション課

☎ 077-511-1414 ☎ 077-511-1418

✉ ino@shigaplaza.or.jp

滋賀県プロフェッショナル人材戦略拠点

☎ 077-511-1419 ☎ 077-511-1429

✉ s-pro@shigaplaza.or.jp

※1 滋賀県中小企業新技術開発プロジェクト補助金
中小企業等の技術開発を促進し、製品の高付加価値化、新分野への進出、新産業の創造等に資する調査研究・研究開発・試作開発の経費の一部を補助する事業

※2 プロフェッショナル人材戦略拠点
プロフェッショナル人材の活用による企業の経営革新の実施を促すことで、中小企業者や小規模事業者の経営向上の取組を支援する拠点

※3 企業のDX推進補助金
企業内業務を熟知する社員を、DXを継続して推進できる「社内DX人材」に育成・強化するため、IoT機器やAIソフトウェア等の導入補助と合わせて人材育成にも補助を行う事業